

3月1日から7日まで「春の火災予防運動」です

日ごろの心掛けで火災を防ぐ



万が一に備えて消火器を設置しましょう

三月一日 から七日 まで全国一斉に「春の火災予防運動」を実施します。この時期は空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。大切な命と財産を火災から守るため、日ごろから防火について家族で話し合い、住宅用火災警報器や消火器を設置するなどの対策をしておきましょう。また、期間中は火災予防広報や独り暮らし高齢者家庭の防火訪問のほか、各消防署ではさまざまなイベントを開催します。ぜひお出掛けください。

消火器や防災製品を備えて

火災の被害を最小限に

「火は消した? いつも心にきいてみて」を防火標語に三月一日 から七日 まで、全国一斉に「春の火災予防運動」を実施します。

一、三月は気温が低く暖房器具などが手離せません。この機会にストーブやガスこんろなど、各家庭で火を使う設備の点検や

正しい使用方法の確認を行い、火災を防ぎましょう。

住宅防火

火災の種類で最も多いのが住宅火災です。次の七つのポイントを心掛け、大切な住宅を火災から守りましょう。

3つの習慣

寝たばこは絶対やめる ス

トープは燃えやすい物から離れた位置で使う ガスこんろなどのそばを離れるときは必ず火を消す。

4つの対策

逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する 寝具や衣類が燃えるのを防ぐため防災製品を使用する 火災を小さいうちに消すために住宅用消火器などを設置する お年寄りや体の不自由な人を守るために隣近所の協力体制をつくる。

火災が発生したときの初期活動

早く知らせる

大きな声で火事を告げ、隣近所に助けを求めましょう。

早く消す

出火から三分以内が消火できる限度。いかに早く消火活動を始めることができるかが重要です。

早く逃げる

避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉め、空気を遮断しましょう。